

平成 27 年度 標準化会議の事業計画

1. 事業の概要

標準化会議は会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。

国内標準化活動では JIS、JASO 及び JSMA 規格の新規及び改正原案作業に取り組む。

国際標準化活動では ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、日本提案の「皿ばね」等の CD 原案作成作業を推進する。11 月にクアラルンプールで開催される第 11 回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

2.1 国内規格関係

2.1.1 JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加する。

要素部会の下に新たに設けられた「波形ばね座金分科会」で「JASO F302 波形ばね座金」の規格改正作業等を 2 年間の予定で進める。

2.1.2 JSMA 規格関係

標準化会議の 4 部会が共に年間 1~2 規格の改正原案作成作業を行う。

昨年度から進めている関連規格の統合化作業、規格と同等な扱いの技術報告書の作成作業なども継続して進める。

なお、平成 27 年度の JIS 規格関係原案作成活動は休止する。

2.2 ISO 規格関係

2.2.1 ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

(1) 第 11 回 ISO/TC227 国際会議

11 月 12 日及び 13 日、マレーシアのクアラルンプールにて開催予定の国際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。

1) 「皿ばね第 1 部-計算式」の CD 案の審議。日本がコンビナー。

2) 「皿ばね第 2 部-技術仕様」の CD 案の審議。日本がコンビナー。

2.2.2 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

(1) 国際標準開発事業

日本提案の「皿ばね第 1 部及び第 2 部」の ISO 規格化を図る。

(2) 国際幹事国際会議派遣事業

2.2.1(1) 項対応。

2.3 広報、出版事業

6 カ国語ばね用語事典の増刷

平成 16 年 9 月に発行した 6 カ国語ばね用語事典は、発行元である日本規格協会では増刷の計画が無い。ばね業界にとって有益な図書であるとの認識の下、当工業会が全量引き取る契約で 200 部を増刷する。